



神奈川県

KANAGAWA



支援の隙間で孤立する
若年女性のための
自立サポート付き
シェアハウス事業



NPOなど ボランティア団体等の活動を 一緒に支援しませんか

アマヤドリ



Fun Place39

持続可能な障害者スポーツ活動のための
人材育成と理解促進事業



かながわ
ボランティア活動
推進基金21への
寄附のお願い



いいにゃクリエイター
かにゃお

ROK
坊



木質バイオマスを活用した
地域内エコシステム構築事業

SeedsAPP
学習支援



かながわボランティア活動推進基金21事業

神奈川県は、ボランティア活動の自主性、主体性を尊重しながら、NPOなどと県が協力し、協働して事業を進めていくことや、その活動を促進するための支援を目的として「かながわボランティア活動推進基金21」を設置しています。

- 子どもの健全育成・福祉・医療など（保育園等における食物アレルギー事故発生防止事業、「津久井浜団地徒歩0分図書館」開設事業など）に関する取組 ▶ 約1,860万円
- 災害救助、地域協働の活性化などに関する取組 ▶ 約1,640万円
- ボランティア団体の発信力UP支援事業の実施 ▶ 500万円

基金21による
ボランティア活動の
支援
約 **4,000**万円

令和5年度実績

寄附の方法

- ① ふるさと納税ポータルサイトを利用した寄附
- ② 納付書による寄附（神奈川県電子申請システムによる手続）
- ③ かながわキンタロウ☆ブックキフによる寄附



詳しくはこちら

問合せ先：神奈川県政策局政策部 NPO協働推進課 NPO支援グループ
電話：045-210-3703(直通)

保育園等における
食物アレルギー事故発生防止事業

(特非) ピアサポート F.A.cafe

食物アレルギーは、特定の食品に対して体が過剰反応を起こし、呼吸困難やショックなどの症状が現れ、時に命の危険を伴う疾患です。患者は増加傾向にあり、統計では乳児の10人に1人が食物アレルギー患者です。また、患児の命を預かる保育園等の職員にとって、多忙な保育業務の中での誤食対策は大きな負担となっています。

そこで、園児にわかる言葉で食物アレルギーを伝え、食物アレルギーの正しい理解と協力が得られる環境づくりを目指し、啓発教材を制作して、県内の各園へ普及させる事業を行っています。幼い園児たちなりに、自分自身や、相手の状況を理解し納得することは、園生活を送る上で患児たちの命を守ることに繋がります。また、園児たちが学んだ内容を、家庭でも共有できるようにし、保護者や兄弟へと、広く理解の輪が広がっていくことで、さらなる食物アレルギーの理解促進を図っています。

協働部署: 次世代育成課、私学振興課、がん・疾病対策課
事業期間: 令和5年度～



「津久井浜団地徒歩0分図書館」開設事業

(特非) プラットファーム

県営団地には、高齢者世帯、単身世帯、生活保護を受けている世帯が多く住まれています。特に、コロナ禍を経て、地域での孤立・孤独化が進み、コミュニティ活動が停滞したことで、心身の健康状態の悪化が見られるなど、地域コミュニティの活性化を図ることが大切になっています。

私たちは、子どもを中心とした場づくりを行うことで、高齢者から子どもまで多世代、また、障害の有無にかかわらず、それぞれにとって安心できる居場所づくりを行っています。地域コミュニティの活性化のためだけでなく、行政や他の活動団体とも連携しながら、開館日にはスタッフが常駐し、来館者個人の課題にも一緒に向き合うことで、必要な専門機関につなげていく活動も行っています。

今後も、高齢の未病改善や、子どもの健全育成につながっていくよう、地域一丸となって活動を進めていきます。

協働部署: 公共住宅課、いのち・未来戦略本部室
事業期間: 令和5年度～



県内では多種多様な
NPOが活動しているにや!
みんな応援してね!



いいにゃクリエイター
かにゃお



お問合せフォームはこちら▶